

チャレンジ！！オープンガバナンス 2024 市民／学生応募用紙

| | | | |
|-----------------------------|------------------|--------------------------------|--------|
| 自治体提示の地域課題名(注1) | No. | 自治体提示の地域課題名 | 自治体名 |
| | | 「観光の質と顧客満足度の向上」で「持続可能な観光」を繋ぎたい | 滋賀県長浜市 |
| チームがつけたアイデア名(公開)(注2) | 長浜市を話題性のある街にするには | | |

(注1) 地域課題名は、COG2024 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

1. 応募者情報 下の欄のうち選択肢項目は右のドロップダウンで選んでください

| | | | |
|---------------------|------------------------|------------|---|
| チーム名(公開) | はまかぜ | | |
| チーム属性(公開) | 1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生 | ドロップダウン選択→ | 3 |
| チームメンバー数(公開) | 3名 | | |
| 代表者(公開) | 杉村紗季 | | |
| メンバー(公開) | 鈴木紗代、山岡保奈美 | | |

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

＜応募の際のファイル名と送付先＞

- 応募の際は、ファイル名を COG2024_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、COG2024 のウェブサイトにある【応募フォーム】からアップロードしてください。

＜応募内容の公開＞

- アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者および公開に同意したメンバー氏名 ([メンバー一覧ページ](#) を参照)、「アイデアの説明」は公開されます。
- 公開条件について:
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY(表示)4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC(表示—非営利)4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja> および <https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
- 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開しません)
- この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあり得ます。

＜知的所有権等の取扱い＞

- 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様でお願いします。
- 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことを確認してください。OKなら右欄の○を選択 →

＜チームメンバー名簿:[メンバー一覧ページ](#)＞

チームメンバーに関する情報を該当ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

アイデアの説明は(1)アイデアの内容(活動)、(2)アイデアの理由(なぜなら)、(3)実現までの流れ、の三項目あります。それぞれ書いてください。必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、対象とする課題解決のために、**どのような社会的活動（サービス）を行うのかを具体的に示してください。**将来実現した場合に、**新規性があり、実践したくなり、魅力的でわくわくするようなアイデア**を求めます。その結果、**課題が解決され、社会に良い変化をもたらすことが期待されます。**2 ページ以内でご記入ください。

※応募チームとして**解決したい課題のポイント**を、以下にごく短く書いてください

<解決したい課題のポイント> 長浜市の知名度を上げる

※以上の課題解決のために『**何**』をするアイデアか、それを『**だれ**』が『**だれ**』に対して『**いつ**』『**どこで**』『**どのように**』行うのか、受益者自身が主体的に関わる視点も視野に入れてわかりやすく書いてください。アイデアが具体的に実行される場面を想定し、説明をお願いします。

（参考）よいアイデアを生むには関連データの分析に加えてデザイン思考によるアイデアを利用する人への共感（使う人の立場になってみること）が大切です。

<提案するアイデアの内容>

長浜市の魅力を多くの人に知ってもらうためのイベントを開催する

長浜市と企業が観光客に対して長浜市の歴史を知ってもらったり、体験してもらったりする機会を作る。

秋ごろに小谷城跡の近くで、国友の鉄砲をみってもらったり、小谷城跡で紅葉を見ながらスタンプラリーを行ったり、夜にライトアップなどを行い、長浜市の歴史や文化、自然などを身近に感じてもらう。

長浜には戦国時代などに関わる文化が多くある

例)豊臣秀吉が築いた長浜城、浅井長政が築いた小谷城跡、国友の鉄砲、石田三成の生まれの地

これらのことなどを県外の人や海外の人にも多く知ってもらうきっかけづくり

また、長浜市は自然が豊かであり、秋には紅葉している山に囲まれ、美しい景色を見ることができる

長浜市の美しい自然と歴史や文化を広め、より多くの人に長浜市を訪れてもらい、「もう一度来たい」と感じてもらう

歴史や戦国時代に興味がある人、あまり知らない人など様々な人が楽しめるイベント

→歴史を身近に感じやすくする、たくさんの体験をしてもらう

・小谷城やおすすめの観光地をめぐるスタンプラリー→実際に小谷城跡を歩き、関心を高めてもらう

小谷山の豊かな自然や紅葉を楽しんでもらう

傾斜が激しい箇所もあるので、山登りとしても楽しめる

長浜市の観光地を巡り、長浜市の良さを知ってもらう

・小谷城跡でのクイズ→長浜市の歴史や、武将などをクイズや謎解き形式で知ってもらう

スタンプラリーと同様に、実際に歩いて見て回りながら長浜について知ってもらう

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

- ・国友の鉄砲→実際の鉄砲をみてもらったり、触れてもらったりする
火縄銃大会の時のように、実際に鉄砲を使っている様子を見もらう
- ・夜間のライトアップ→長浜市の自然の魅力をより感じてもらうために、紅葉のライトアップを行い、昼間とは違った一面を感じてもらう
- ・三成くんや秀吉くんなどのゆるキャラのショー→長浜市のゆるキャラなども通して、より多くの人にイベントに来てもらう
- ・長浜市のグルメを集めた屋台→長浜市のグルメ（鯖そうめんや鮎寿司など）を集め、食事をとってもら場所をつくる
グルメを通し、長浜市の文化をより知ってもらう
- ・工芸品の展示、販売→はめちりめんやガラスなどの工芸品を展示、販売することによって、お土産として
再度長浜市を思い出してもらう

| |
|--|
| |
|--|

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

次にアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

※このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます。

※先に書いた『何を』『だれが』『だれに対して』『いつ』『どこで』『どのように』というアイデアの内容を支えるために、『なぜ』このアイデアが有効で、実現する意味があるのか』を、上記のデータを使ってわかりやすく説明します。

<参考：以下のように理由を書いていきます>

※根拠：このアイデアがなぜ必要であるか、またはなぜ有効だと考えるのか、その筋道を説明します。

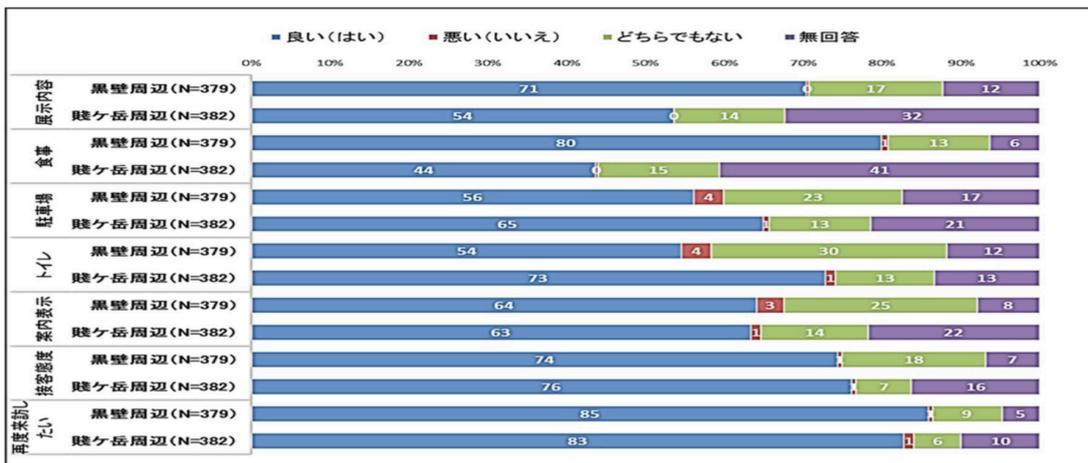
※裏付け：その根拠を支えるために、統計データや報告書、事例などを使って補強します。さらに具体的なアイデアの効果についても、何らかのデータを使うと説得力が増すでしょう。（定性データを含めて歓迎）

現在長浜市に訪れる観光客のほとんどは、黒壁や豊公園などの長浜駅周辺に訪れている



長浜市の観光に偏りがあり、長浜市の特に北の方には観光客は訪れていない

下のグラフのように、黒壁周辺に比べて北の方が観光客の満足度も低い



しかし、長浜の魅力は黒壁以外にもたくさんある

例) 小谷城跡、豊かな自然、鉄砲など

また、長浜市役所に話を聞いたところ、外国人観光客数を増やすのも課題であることがわかった

→外国人観光客が日本に求めることを考えたところ、「日本らしさ」ではないかと思った

長浜市の魅力→「日本らしさ」につながる面が多い

そこで、長浜市の歴史や文化などを広め、外国人観光客を中心に、より多くの人に長浜市の良さを知ってもらうイベントの企画を考えた

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

小谷城跡は実際に歩いて見て回れるし、自然豊かであるため、イベントの場所を選んだ
また、秋頃には紅葉も始まるため紅葉を楽しむこともできると考えた

元々武将に興味がある人だけでなく、興味があまりない人にも楽しんでもらうには？
→武将に偏りすぎても良くないと考えた

- ・自然を楽しんでもらうことや、スタンプラリーなどの他の楽しみも取り入れる
- ・鉄砲などの見て楽しめるもの、迫力のあるものも取り入れる
- ・屋台や工芸品を取り入れることによって、お祭りのようにしても楽しめるようにする

また、2026年には豊臣秀吉の弟である豊臣秀長をメインとした大河ドラマが始まる
→長浜市でもそれを盛り上げたい

豊臣秀吉や長浜市の武将についてのイベントを開催すれば、大河ドラマも長浜市も盛り上げられると考えた

(3) アイデア実現までの流れ(公開)

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大ききな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策を含め、アイデア実現までの大ききな流れについて、**2ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

※アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきます

<以下のように分けて書いていきます>

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大ききな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

主に長浜市が主体となる

国友鉄砲研究会などの鉄砲を撃てる団体、戦国武将に詳しい団体の協力も必要
ライトアップのための電飾や、ウォークラリーに使用するカードやスタンプ、順路指示のための看板

ライトアップ費 80万～150万程度
イベント費用 数100万
屋台などの建設費や、飲食スペースの設置費
呼ぶべき団体への費用 など

黒壁などからの観光収入やクラウドファンディングなどで資金調達を行う

| | |
|------|-------------------------------------|
| 1年前 | 企画、団体の協力呼びかけ |
| 半年前 | クイズや、ウォークラリー問題準備 ライトアップ企画、電飾準備など |
| 3ヶ月前 | イベントPR、告知 |
| 1ヶ月前 | クイズ、ウォークラリーなど物資準備 |